

# アマモを育てています



気候変動対策や生物多様性保護の一助になれるよう、当事務所ではアマモの試験的移植に取り組んでいます。今年度は令和4年11月22日（火）に幸ヶ谷小学校、11月28日（月）・12月2日（金）に篠原小学校の皆さんとともにアマモの播種を行いました。

幸ヶ谷小学校とは、横浜技調の播種分を小学校の教室で、小学校の播種分を横浜技調で互いに育てる交換留学のような形をとっています。また、4年生のクラスを4グループに分け、配合の違う土と横浜の海水を使用した比較試験に挑戦しています。

篠原小学校は海辺から距離のある学校のため、人工海水での発芽や生育を確認する試験に挑戦しています。こちらは、4年生と5年生が異なる配合で行い、小学校のプールサイドで育てます。

今回植えた種は、来春潮彩の渚（当事務所の人工干潟）等へ移植予定です。

アマモの種の入手にあたっては、東京湾UMIプロジェクトの活動において、金沢八景-東京湾アマモ場再生会議及び海辺づくり研究会の皆様にご協力頂きました。ありがとうございました。

※）横浜港湾空港技術調査事務所では、今回の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、地域の一層の発展を図って参ります。



活動の様子



種を選別している様子



鉢に種をまいている様子



鉢を持ち寄っている様子



篠原小学校-プールサイド



幸ヶ谷小学校-ベランダ

(お問い合わせ先)



国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所

〒221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4

TEL:045-461-3896 MAIL: info-y83ab\*mlit.go.jp \*は@マーク

環境課長 大坪貴明